

平成 29 年度 施策評価表



施策	0301	文化財の保護・活用・継承	施策推進担当部	教育委員会
施策の方針	貴重な歴史遺産である文化財の保護・活用や、各地域で継承されてきた民俗芸能等の保存・継承を推進する。また、歴史資料館の整備を行い、郷土の歴史に触れる機会を創出する。			

【DO（実施）】  
基本計画における目標値

指標名	単位	基準値 (H26)	H28目標値	H29目標値	H30目標値	H31目標値	H32目標値	H28年度	
			H28実績値	H29実績値	H30実績値	H31実績値	H32実績値	達成率	進捗率
① 指定文化財の数	件	48	49 48.0	50	50	50	50	98.0%	96.0%
② 芸能の保存団体数	団体	19	20 21.0	20	21	21	22	105.0%	95.5%
③ 大村市歴史資料館（仮称）の年間入館者数	人	6,787	7,000 7,554	3,000	-	12,000	20,000	107.9%	37.8%
④									
⑤									

施策達成状況の説明

史料館入館者は、大村純忠と戦国時代に係る特別展が集客効果があった。  
 芸能保存団体は過去の調査で把握した市内全25団体の実態調査を行い、4団体が解散又は休止中で、21団体が活動中であることが分かった。  
 指定文化財は予定物件の事務手続が進まないため、目標を達成できない足踏み状態が続いている。

施策経費

(単位:千円)		H28年度 決算	H29年度 予算	H30年度 見込	特記事項
内訳	事業費	88,620	275,829	1,065,959	
	国庫支出金	32,855	118,828	258,835	
	県支出金	1,450	1,629	1,654	
	地方債	8,200	104,200	592,200	
	その他	1,545	1,346	1,479	
	一般財源	44,570	49,826	211,791	
	人件費	44,717	32,560	-	
フルコスト	133,337	308,389	-		

施策の概要

030101	文化財の保護・活用	本経寺や旧田融寺庭園をはじめとする歴史遺産を後世へ継承するため、文化財の計画的な調査・研究、保存に努め、重要なものについては文化財指定を進め、保護を図ります。 また、文化財は個人所有のものも多く、その保護には市民の理解、協力が必要となることから、その存在や価値を広く周知するための情報発信・活用を進めます。
030102	民俗芸能等の継承	伝統文化を受け継ぎ、郷土を愛する教育の推進を図るため、国指定重要無形民俗文化財に指定されている「大村の郡三踊」（寿古踊・沖田踊・黒丸踊）をはじめとする民俗芸能や伝統行事について、後継者や指導者の育成支援や記録保存を行います。
030103	郷土教育の充実	多くの市民が郷土の歴史に関心を持ち理解を深めることができるよう、郷土史講演会などを開催します。 また、小・中学生の頃から郷土史に詳しく触れる機会を設け、郷土愛の醸成を図ります。
030104	大村市歴史資料館（仮称）の整備	郷土の歴史に触れ、貴重な歴史遺産を後世に伝える施設として、県立・大村市立一体型図書館（仮称）に併設して新たな歴史資料館を整備します。

**【CHECK（評価）】**

施策を達成 する上での 問題点・課 題	文化財指定の予定物件はあるが、関係者との間で事務手続を進めるための有効な打開策が見付からない。
------------------------------	---

**【ACTION（改善・改革）】**

問題点・課 題を踏まえ た施策構成 事務事業の 改善・改革 や新規事業 についての 考え方	長年の文化財周知・活用により、市民の郷土の歴史への関心は次第に高まりを見せている一方で、旧楠本正隆屋敷や大村純忠史跡公園の経年劣化は著しく、また、国指定旧円融寺庭園の石塀の一部が倒れ、又は傾いている。いずれも本市を代表する公開文化財であり、高額な費用がかかるものの、早急に修繕事業を行わなければならない。
--	--

**平成30年度新規事業**

	事業名（仮称）	担当課	H30年度見込	対象・事業概要など
			事業費	
1				
2				
3				
4				
5				
			0	

**【評価調整委員会意見】**

1	施策推進担当部意見のとおり	
<<特記事項>>		

**【最終評価（都市経営戦略会議）】**

1	評価調整委員会意見のとおり	
<<特記事項>>		